南砺市民病院 Nanto Municipal Hospital

病院だより 第79号

令和４年８月25日

令和4年度

4期生の看護師特定行為研修の開講式を挙行いたしました

日時:令和4年7月7日　　会場:南砺市民病院　講堂

南砺市民病院では、平成31年2月に厚生労働省より「看護師特定行為研修指定研修機関」の認定を受け、平成31年4月より研修をおこなっています。

今年度より、特定行為区分を従来の「栄養水分に係る薬剤投与関連」「創傷管理関連」に、**「血糖コントロールに係る薬剤投与関連」の区分を追加し、3区分5行為の研修ができる**ようになります。この度4期生3名の受講が決定し、令和4年7月7日に開講式を挙行しました。受講生のうち1名は南砺市訪問看護ステーション所属の看護師です。

病院長からは、「リーダーシップを発揮し、他の看護師の手本となるよう頑張って欲しい。皆さんの成長が病院の成長につながる。そして、南砺市の地域医療の発展のため頑張って欲しい。」と激励の言葉が贈られました。受講生からは、「治療内容のアセスメント能力の向上、今後予測される病態について理解し日頃の業務に活かして行きたい。」「学んだ知識を活用し、患者さんの異常の早期発見、重症化予防に努め、早期退院につなげていきたい。」在宅においては、「利用者の健康の維持・早期回復につなげ、地域包括ケアに貢献したい。」と抱負が述べられました。

受講生は、7月より翌年の6月までの1年間の研修をおこないます。研修にて多岐にわたる多くの知識を習得し、地域医療の発展のため質の高い医療、看護が提供できるよう精進して参ります。

令和3年度

南砺市民病院看護師特定行為修了式

日時:令和4年6月23日　　会場:南砺市民病院　講堂

令和3年度第3期生看護師特定行為研修修了式が行われ、「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」の1区分2行為の研修課程を終えた受講生に、清水院長より修了証と徽章が授与されました。

【研修修了者の抱負】

吉田和人特定看護師

「研修で得られたフィジカルアセスメント能力を活かし患者さんの異常の早期発見や、栄養サポートチーム内では、栄養量・水分量の管理の知識から医師をはじめとする多職種連携で患者さんの脱水や低栄養に対して早期介入し改善に努めたいです。また、得た知識を病棟看護師や新人看護師教育にも役立てたいです。」

山本絹代特定看護師

「フィジカルアセスメント、臨床推論、臨床薬理などの講義から、行われている治療内容や、その治療に至った医師の思考過程を知ることができ、今後予測される病状変化について今まで以上に理解して対応できるようになりました。今後は、医学、看護の両視点から早期介入をおこない、「治療」と「生活」の両面からの支援に貢献していきたいです。」

令和4年6月現在、当院の特定看護師は合計8名となりました。

人生会議　第3話　完成！

当院では、「人生会議」を地域住民の方々に知っていただくそのきっかけ作りに一昨年から３つのドラマを制作してまいりました。ドラマは、脚本から演出まで全て病院スタッフで行い、撮影には、となみ衛星通信テレビ株式会社のご協力をいただきました。

今回、最終話となる第３話が完成し、となみ衛星通信テレビで放映されました。

病気を抱えていてもいなくても、何気ない毎日の生活の中で、大切な方々と人生について語り合うことは、自分らしさを再認識したり、自分の価値観や人生観を共有する良い機会になります。皆さんも元気なときから「人生会議」をはじめてみませんか？

～もしもの時のおはなし～　「今日からはじめる人生会議」

第1話　“もし”あなたが大切な友人（同級生）を突然亡くしたとき
第2話　“もし”あなたが続けてきた治療の効果がなくなったとき
第3話　“もし”あなたが自分の意思を伝えられなくなったとき、その思いを紡ぐのは･･･

「人生会議」は、となみ衛星通信テレビ株式会社　公式YouTubeチャンネルにて、いつでも視聴することができます。「南砺市民病院」「人生会議」で検索し、是非、視聴してみてください

私たちは、患者さんとご家族の医療参加を望んでいます！

ご本人であることを確かめるため、次のことをお願いします。

①氏名・生年月日を名乗ってください。
②受付票を提示してください。

-------患者さんの確認が大事な3つの理由--------

14歳の挑戦

3年ぶりとなる「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」を7月4日～6日の3日間実施しました。参加した井波中学校の生徒は、医師、看護師、薬剤師、リハビリ、管理栄養士、介護福祉士、歯科衛生士の職場体験活動に取り組み、活動の趣旨でもある、将来の自分の生き方を考える機会にも繋がったようです。

高校生看護見学

高校生看護見学を7月4日、13日に行い14名の参加がありました。血圧測定等の体験の他に、看護の道について看護学校の先生による講義、看護師との座談会もあり、ネットでは知ることができない情報や普段できない体験ができたとの意見が聞かれ、今後の進路選択に繋がる有意義な機会となったようです。

研修医紹介

初期研修医　坂東（ばんどう）　裕（ゆたか）

皆様こんにちは。初期研修医の坂東裕と申します。富山大学の学生実習にて、南砺市民病院の職員の方々が患者さんのために密に連携し医療を提供している姿に感銘を受け、当院を研修先に選ばせていただきました。まだまだ未熟なところばかりですが、地域の皆様のお役に立てるよう精進して参りますので何卒宜しくお願い申し上げます。

職種紹介（言語聴覚士）

こんにちは！言語聴覚士です。私たちは「食べること」や「コミュニケーション」を支援するリハビリテーション職種です。当院における主な仕事をご紹介します。

❶「食べること」の支援（摂食嚥下）

むせるなど食事が食べられない方に対して、医師、看護師、栄養士、リハビリスタッフ等と連携し、「食べる」ことを支えます。この写真は飲み込み時の喉の動きをカメラで評価しています。外来の方は地域医療連携科で摂食嚥下パスをご予約ください。

❷「コミュニケーション」の支援

口の動きや呼吸が問題でうまく話せない（構音障害）、ことばの組み立てが難しい（失語症）方への支援をします。外来では、就学前までに幼児語を治す訓練もしています。小児言語の窓口は耳鼻咽喉科です。お気軽にご相談ください。

回復期リハビリテーション病棟の紹介

「病気やケガをしても少しでも良くなりたい」「住み慣れた自宅に帰りたい」これは誰しもの願いです。当院の回復期リハビリテーション病棟では、急性期治療が終了し病態が安定している脳血管疾患、骨折、心不全や肺炎治療後の身体機能低下などの患者さんを院内・院外から早期に受け入れし、365日、個別的・集中的なリハビリテーションを提供しています。

病棟・リハビリテーション室での様子

体重免荷式歩行器での歩行訓練

箸の練習
～生活すべてがリハビリテーション～

～多職種で栄養カンファレンス～

2021年度病棟実績

＼ 全国平均との比較 ／

	当院平均	全国平均
年　　齢	81.7歳	76.9歳
在院日数	57.9日	69.1日
FIM利得	25.2	24.5
在宅復帰率	88%	79%

※当院のデータは2021年度に回復期病棟を退院した患者さんを対象とし分析。
全国平均は、全国回復期リハビリテーション病棟協会の2021年8月退院患者調査データより抜粋。

FIM：Functional Independence Measure
日常生活の自立度指標　126点満点で点数が良い方が自立度高い
FIM利得：病棟退棟時FIM得点-入棟時FIM得点　自立度の変化指標

Nanto Municipal Hospital
南砺市民病院
〒932-0211 富山県南砺市井波938番地
TEL:0763-82-1475　FAX:0763-82-1853
https://shiminhp.city.nanto.toyama.jp/

理念　皆さまの意向を尊重した質の高い医療の提供により地域社会に貢献します